

Web クライアント 変更点 (Ver2.30R00 → Ver2.30R01)

2002年 7月 16日
松下システムソリューションズ(株)

- Global Webクライアントが Ver 2.30R01 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

サーバー	UNIX版	5.12R01
	WindowsNT版	5.12R01
WWWブラウザ	Windows 95/98/NT4.0/2000	Internet Explorer 5.01 (5.00.2919.6307) ~ 6
		Netscape Navigator 4.7x 以降/6.2

※ Internet Explorer 5.5SP2 を推奨します。

※ Internet Explorer 4.01SP2 は動作確認は致しておりますが、インターネットウィルスの危険性に対しパッチ適用等がなされておきませんので Internet Explorer 5.5SP2 以上へバージョンアップされることを推奨します。

バージョンアップ内容

[ワークフロー部]

本システム以外のメーラーで通知メールのURLから書類画面を開いて処理を行った後、まだ自分宛書類が残っている場合、自分宛書類一覧画面を開くように変更しました。

不具合修正

[メール部]

PtoP接続環境のサーバーから LDAP検索ができない不具合を修正しました。
サーバーのメール格納形式がファイル格納ではなくDB格納の場合にメールの内容表示に失敗することがある不具合を修正しました。

[ワークフロー部]

タグを含む帳票において指定ファイルに空白行がある場合、
出力結果の<option>タグのVALUE値に「nwf_no_data」が設定される不具合を修正しました。

プロセス変更可の書類(起案以外)において次の宛先が変更可能な場合、
書類画面からプロセス編集画面を開くと、次の宛先が起案インスタンスに登録される

不具合を修正しました。

画面表示にJavaScriptやDHTMLを利用する帳票の場合、書類印刷画面のレイアウトが崩れる不具合を修正しました。